

令和4年度 第2回

「稼ぐ力の強化に向けた産業DXの加速」に関する万国津梁会議

産業DXの加速に向けた検討について (論点①、②)

日時：令和4年10月3日(月) 14:00～
場所：県庁6階第1特別会議室
担当課：沖縄県 商工労働部 情報産業振興課

第2回DX会議での議題

論点① DXの意味が分からない・良さが分からない問題への対応

論点② DXのやり方が分からない問題への対応

第3回DX会議での議題

論点③ DXを推進する人がいない問題への対応

論点④ DXの加速後にやってくるもの：県内産業の再構築

論点① D Xの意味が分からない・
良さが分からない問題への対応

論点① DXの意味が分からない・良さが分からない問題への対応

現状

県内の多くの経営者はDXを理解していない。（意味が分からない・良さが分からない）

課題

- (1) 経営者のマインドの変革・醸成が重要
 - ・経営そのもののマインドの変革
 - ・DXに対するマインドの変革（DXのメリットを理解してもらう）
- (2) アンケート調査結果の、DXを実践すると良さが分かる、という傾向から、県内中小企業に着手してもらえるような工夫が必要

検討に向けて

- (1) 経営者の意識改革のためには、どのような手法が効果的か。
また、DXのメリットを分かりやすく伝えるためには、どのような方法があるか。
- (2) 県内の中小企業のDXの着手ハードルを下げる工夫とは。
→論点②「やり方が分からない問題」において、手軽にDXを始める方法を議論する。

論点① DXの意味が分からない・良さが分からない問題への対応

検討事項

【DXの理解促進のポイントは？】

- A) 経営者に理解してもらうためには、DXのセミナー等で説明するだけでなく、危機感を持ってもらうことが必要ではないか。
→その具体的な手法とは。
- B) 経営者のマインドセットをDXの推進に向けて加速させていくことが重要ではないか。
→誰でも簡単に理解できるような仕組み、伝え方、資料等とは。
→経営者のマインドセットにどのように訴えかければ、DXが自社のメリットとなることを理解・納得してもらえるか。
- C) 経営者だけでなく、従業員にもDXを理解してもらうことで、各社のDXが加速するのではないか。
- D) 上記のポイントを考慮して、啓発活動（セミナー、コンサル、各種情報発信等）の拡充を図るべきではないか。
- E) その他、マインド変革させる取組について。

論点②

D Xのやり方が分からない問題への対応

論点② DXのやり方が分からない問題への対応

現状

DXを理解したとしても、何から始めていいのか分からない。
(DXのやり方が分からない)

課題

- (1) 何をすればよいのか、最初の一步を踏み出せない。
- (2) どの製品、サービスから使い始めるべきなのかが分からない。

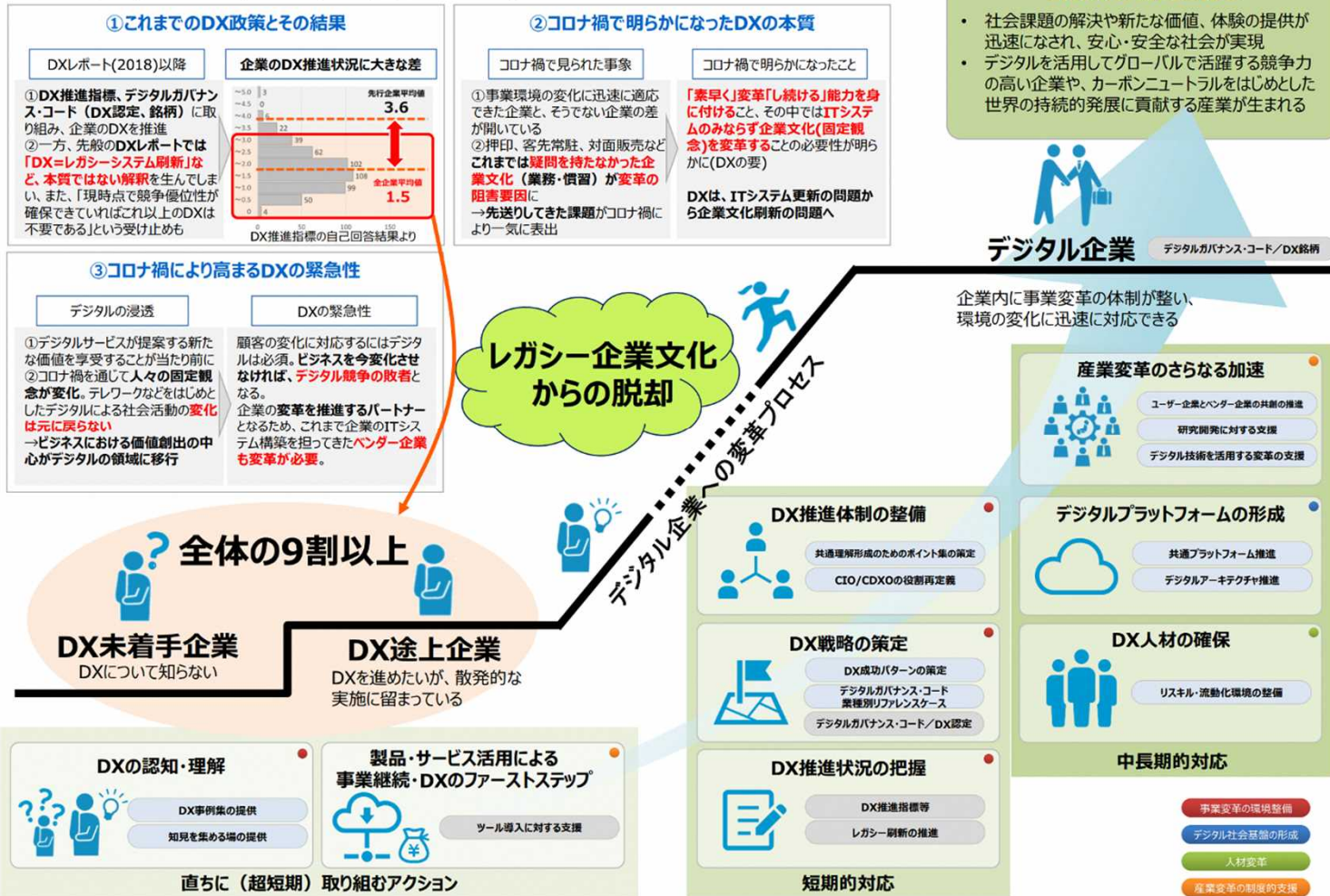
検討に向けて

- (1) DXに取り組むイメージを持ってもらうための手法とは。
- (2) どのようにDXに着手させるか。(ハードルを下げる取組とは。)
- (3) 製品、サービス選定にあたっての考え方とは。

論点② DXのやり方が分からない問題への対応

DX推進の意味とステップが分かるモデル：経済産業省のシナリオ

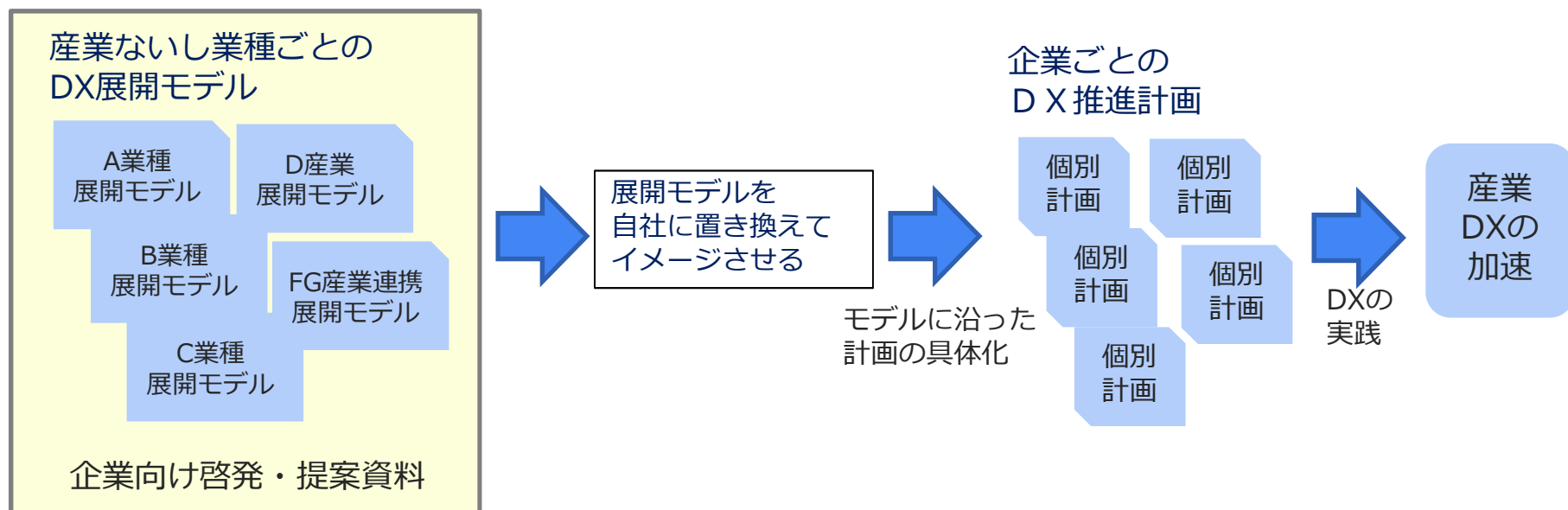
DXレポート2のサマリー（DX加速シナリオ）



短期的対応

論点② DXのやり方が分からない問題への対応

- 各企業がDXするにあたり、DXの進め方をイメージさせる具体的な手順を記載した産業や業種ごとの「展開モデル」が必要となる。
- 「展開モデル」を基に、自社に置き換えたDX実践のイメージを持たせる。
- 「展開モデル」とDX実践のイメージから、自社のDX推進計画を立てる等、DXへの取組を促す。



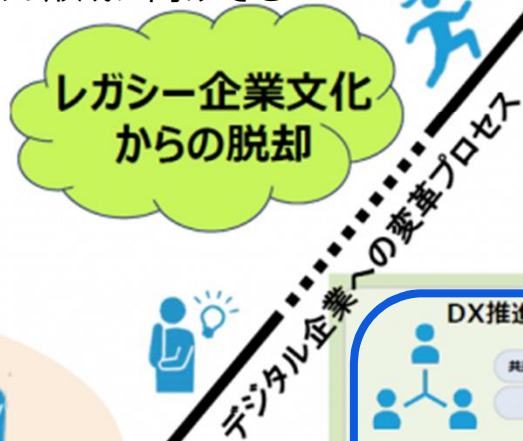
論点② DXのやり方が分からない問題への対応 製品、サービスの選定にあたっての考え方

- 産業DXの加速のためには、まずデジタル化への取組が必要。
- 単に着手しやすいだけでなく、将来的なDXの展開に結びつくようなスタートを切ることが重要ではないか。

手軽にスタートさせるためには、安価で導入しやすいクラウドサービスが適しており、将来的なデジタルプラットフォームの形成に向けても優位性がある。



企業内に事業変革の体制が整い、環境の変化に迅速に対応できる



DX

産業変革のさらなる加速

- ユーザー企業とベンダー企業の共創の推進
- 研究開発に対する支援
- デジタル技術を活用する変革の支援

デジタルプラットフォームの形成

- 共通プラットフォーム推進
- デジタルアーキテクチャ推進

DX人材の確保

- リスキル・流動化環境の整備

中長期的対応

- 事業変革の環境整備
- デジタル社会基盤の形成
- 人材変革
- 産業変革の制度的支援

全体の9割以上

DX未着手企業
DXについて知らない

DX途上企業
DXを進めたいが、散発的な実施に留まっている

DTZ
DTLZ

DXの認知・理解

- DX事例集の提供
- 知見を集める場の提供

直ちに（超短期）取り組むアクション

デジタルプラットフォームの形成を見据えて、導入するクラウドサービスを選定

DX推進体制の整備

- 共通理解形成のためのポイント集の策定
- CIO/CDXOの役割再定義

DX戦略の策定

- DX成功バタンの策定
- デジタルガバナンス・コード策定の円滑なプロセス
- デジタルガバナンス・コード/DX認定

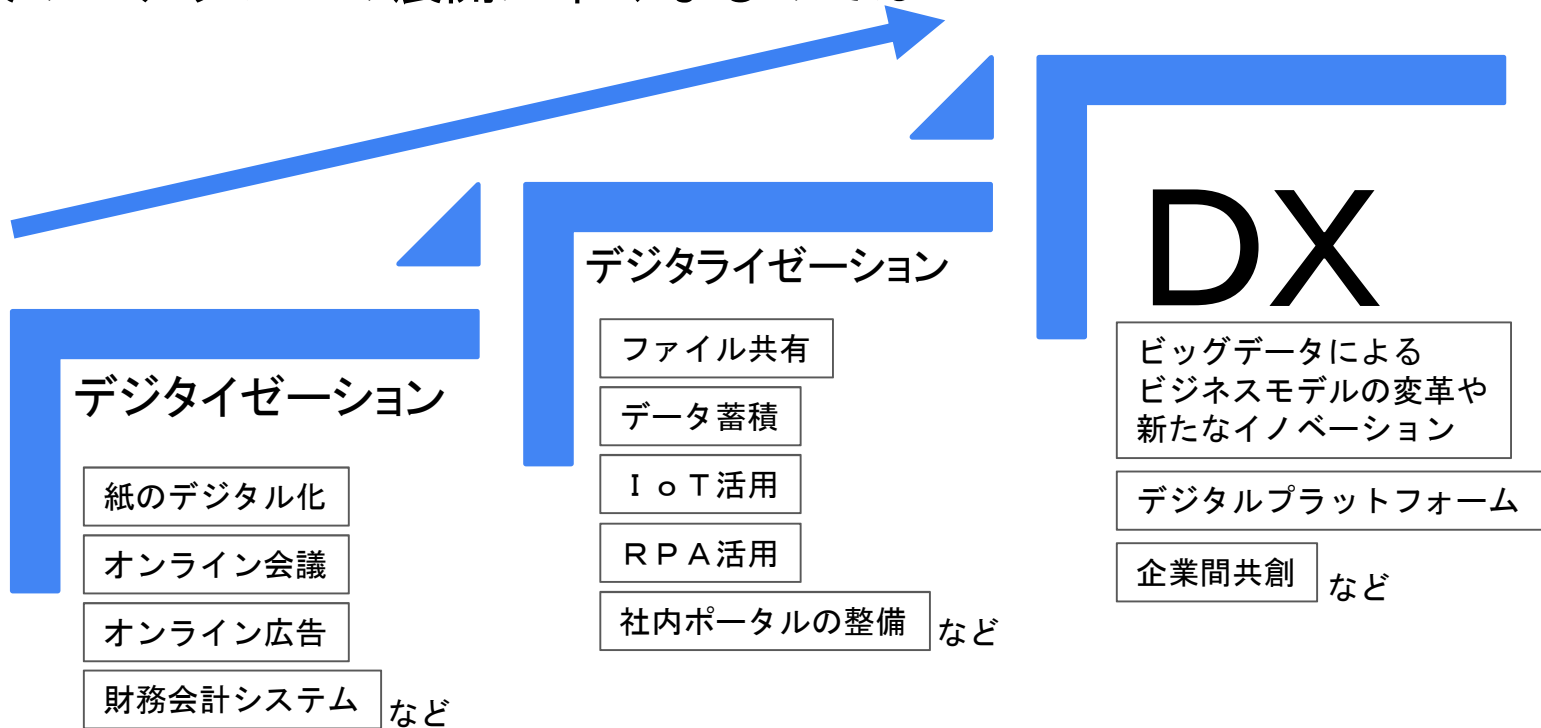
DX推進状況の把握

- DX推進指標等
- レガシー刷新の推進

短期的対応

論点② DXのやり方が分からない問題への対応
製品、サービスの選定にあたっての考え方

クラウドサービスの導入により、
次のステップへの展開が早くなるのでは？

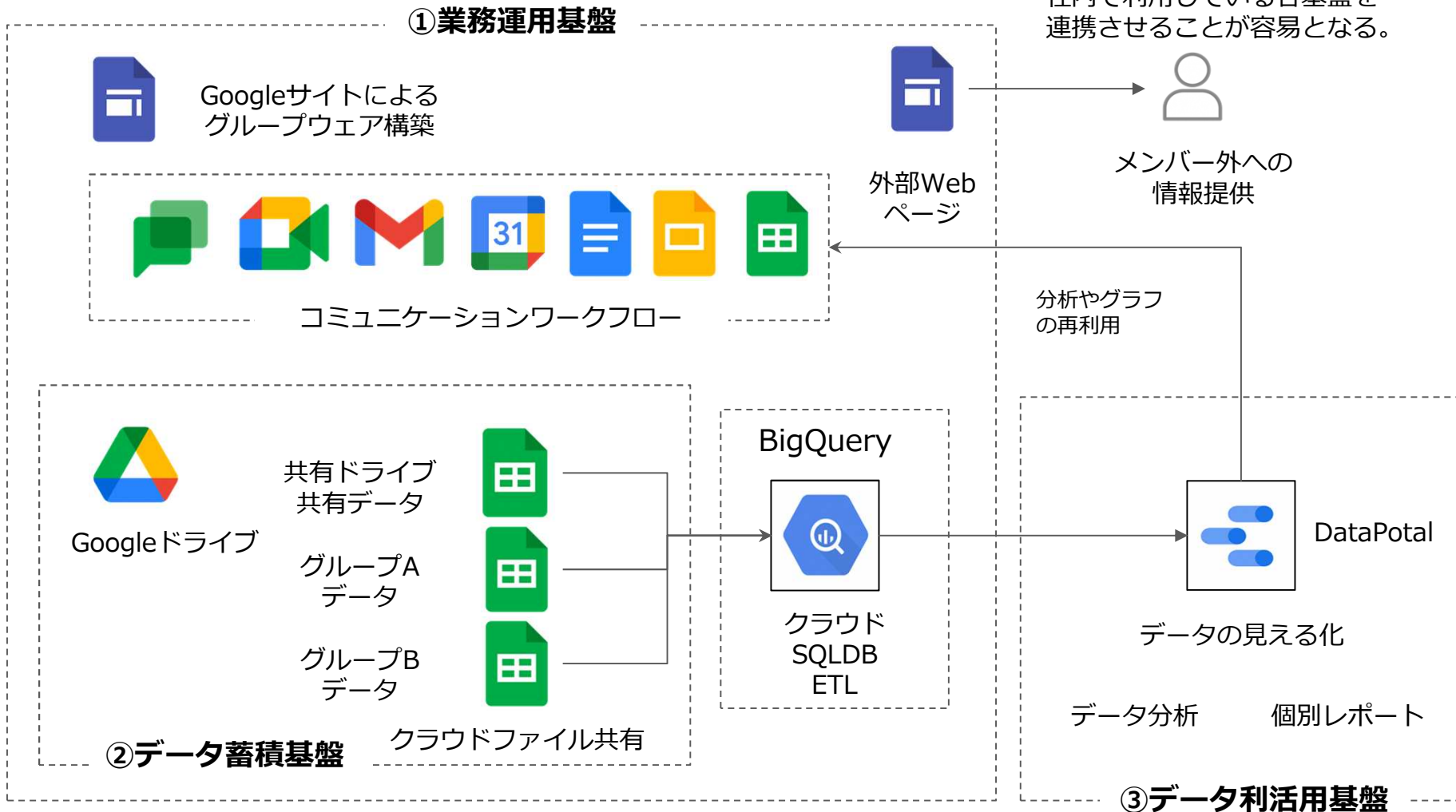


DXを見据えたクラウドサービスを導入することで、
デジタルイゼーション → デジタルイゼーション → DXの展開がスムーズとなり、
産業DXを加速させることができる。

論点② DXのやり方が分からない問題への対応 クラウドサービスを活用した社内ポータルのご具体例

社内ポータルの構築例（Google Workspaceの場合）

クラウドサービスを活用した社内ポータルを構築することで、社内で利用している各基盤を連携させることが容易となる。



論点② DXのやり方が分からない問題への対応 社内ポータルからデジタルプラットフォームへ

社内ポータルから、デジタルプラットフォームへ

社内ポータル

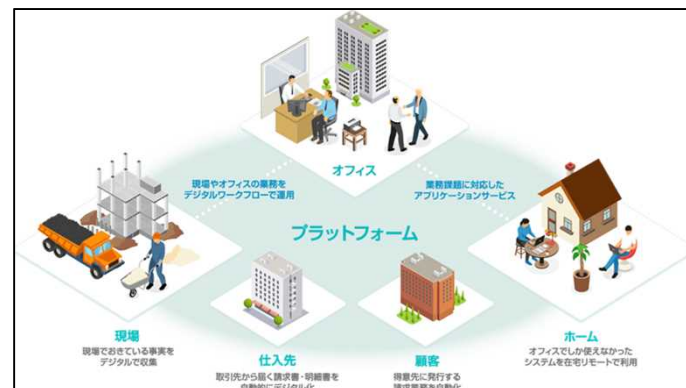


DXに向けてのスキルアップ デジタル視点への変化



- ① コラボレーション
- ② データ主義
- ③ 顧客中心への視点の変化
- ④ 作業プロセスの自動化への進化
- ⑤ 他社とのデータ連携
- ⑥ 社会貢献への視点拡大

デジタルプラットフォーム



- 社内ポータルは、業務ハブとしてDXの多くの部分を支援する最適なツールの一つ。
- デジタルプラットフォームを見据えてクラウドサービスを導入することで、将来的に、社内ポータルからデジタルプラットフォームへのステップアップが容易となる。

- 企業間共創による、新たなビジネス展開の可能性を秘めている。

論点② DXのやり方が分からない問題への対応

検討事項

① どのようにやり方を提示すれば加速につながるか

- A) DXの進め方の見本を、誰にでも分かりやすい資料で示す必要があるのではないかと
→分かりやすい資料とは。（例えば、マンガなど）
- B) 各産業や業界ごとの展開モデルの拡充・普及を図るべきではないか。
→DXが加速する具体的な展開モデルとは。

② どのように着手させるか

- A) DX未着手の企業が取り組みやすいように、安価で簡単に導入できるクラウドサービスを推奨し、将来的なデジタルプラットフォームの構築を見据え、連携運用可能なクラウドサービスの導入を勧めるべきではないか？
- B) 県内IT業界が一丸となって、クラウドサービスの導入を促進するためのキャンペーンを実施してはどうか？
- C) 企業のDXへの取組に伴走してくれるIT企業が必要ではないか。
- D) 必然的にデジタル化させる取組が必要ではないか。

③ その他、産業DXを加速させる取組について